

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「瀬戸谷再発見」宝物を磨き上げる交流・定住促進事業
対象地域	静岡県藤枝市瀬戸谷地区
活動概要	<p>瀬戸谷地区は、藤枝市の最北部に位置し、市の面積の半分を占めていますが人口は807世帯約2,800人が居住しており、2.3%である。標高は100～870mと起伏に富んだ細長い地形をしている典型的な中山間地域で、9集落から構成されている。</p> <p>地区の真ん中を瀬戸川が流れ、自然環境に大変恵まれており、豊かな自然環境を背景に農林業が基幹産業であるが、谷間の急峻な地形から機械化も進まず特産のお茶や木材価格の低迷により若者の市内外への流出は著しく人口もピーク時の半分となっている。</p> <p>2集落では子どももなく限界集落となっており、定期バス路線の撤退による交通弱者対策が必要となっている。数年後には都市部の小学校との統合、中学校の複式学級も予想され、農業後継者も少なくこのままではコミュニティの維持困難になるなど、地域活力の低下が課題となっている。</p> <p>瀬戸谷地区には平成元年ころより多くの活性化施設が建設され、地域住民と行政の協働による管理運営がなされてきており利用率も高いが、管理団体構成員の高齢化により今後、維持管理運営がままならなくなるなど、管理運営をしてくれる担い手不足の問題も顕在化してきている。</p> <p>このため、これ以上の若者の流出を防ぎ若者が地域に対する誇りを持ち、地域の活力を取り戻せるよう、内外の若者や都市部の人材の掘り起こしを通じて、瀬戸谷の宝物を磨き上げ、瀬戸谷地区に愛着を持つ者を増やして新たなコミュニティの創出を図り、居住・定住環境を整え施設運営や観光農業、伝統芸能の新たな担い手となることを目指す。</p>
今年度の主な取組	<p>瀬戸谷生き生きフォーラム(以下フォーラムと言う)が主体となり、3年前よりワークショップを行い策定した「せとや未来づくり道しるべ」に沿って活動を行う。</p> <p>①二地域居住や定住希望者の受入れを促進するため、若者(在住者、流出者)の居住環境アンケート調査、地区住民の協力を得て空き家実態調査、空き家活用協力者の確保、農業体験指導者調査を行い、空き家確保、農業体験・自然体験交流事業を通じた定住促進を図る。</p> <p>②新ブランド品として売り出し中の3つの活性化施設が中心となる藤枝特産物の「しいたけ」入のコロツケの企画・加工・販売促進を通じた若者の就労環境を整える。</p> <p>③路線バス撤退に伴う対策ワークショップの開催と地域自主運行バス運営システムの構築を図る。</p> <p>④年間20万人の集客のある瀬戸谷温泉「ゆらく」(公設民営)を核に地域の宝物を巡るハイキングコースづくりと高齢者バス遊覧ガイド育成、農産物や新ブランド品の販売促進施設の検討を行う。</p> <p>⑤富士常葉大学環境防災研究所や市内NPOと連携して廃止となった活性化施設(牧場)や瀬戸川を活用した自然体験企画を行い、子どもたちの自然体験教育の受け皿、指導者育成、運営システムの構築を図る。</p> <p>⑥隣接する島田市の中山間地域の笹間、伊久美地区と連携した取組の「天空の回廊プロジェクト」(中山間地の限界集落に対応するため、海外を含めた内外の人材、地域資源、文化のコラボレーションを図る「アーチストインレジデンス」事業)を推進するための活動調査(関係者ヒアリング)を実施する。</p>

活動結果	<p>若者人口減少、コミュニティの再生、活性化施設の後継者対策、バス路線撤退の課題解決のため主に4つ(定住促進、地域ブランド、バス対策、自然農体験)のテーマを掲げ9月からの約半年だけの取組ではあったが、多くの組織の協力により、たくさんの主体の方々とのコミュニケーションが図れ、地域の課題の共通認識を深めることができ、地域ブランドの企画情報発信、バス対策、自然体験活動などは課題の解決に繋がってきていると思われる。</p> <p>しかし、数十年と続いてきている人口減少などの大きな流れを一気に止めることは簡単ではないことも痛感している。</p> <p>毎年同じことを繰り返すことではなく、地域内の人だけでなく地区内外の若い人たちのアイデアを吸収し発信することで、長く続く伝統行事(祭りなど)を継続していけるよう、地域住民の多くがこの取組に共感、参加していただけるように継続していくことが重要と認識を深めた。</p>
当初予想していなかった効果	<p>地域ブランドの情報発信として「せとやコロッケ」の販売企画やイベントでの広報活動を行ったが、取組に独自性や話題性を認められたことからマスコミ(新聞やテレビ)に大きく取り上げられ、瀬戸谷地区の紹介やその取組を行っている高齢者(活性化施設関係者)を紹介していただいたことにより、活動しているものにとってやりがいが増し、今後の取組にも弾みがついてきた。</p> <p>瀬戸谷のブランド価値が各方面で評価され、藤枝市を代表して静岡県市町村抗物産店に出店、静岡県食の大交流大会にも生産者が作るご当地グルメとして唯一出店依頼があり参加した。地域振興の取組が評価され、静岡県知事と懇談。また、市町合併においても市民レベルでの取組が注目され、県知事をはじめ報道機関局長の方々に藤枝コロッケ焼きそばパンを提供し話題となった。</p> <p>様々なメディアによる瀬戸谷地域の発信は、金額には返られない効果をもたらした。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">▲地域活性化検討のWS      ▲バス対策WS</p>
応募団体名	瀬戸谷生き生きフォーラム
リンク	瀬戸谷村 <a href="http://www.setoya.com/">http://www.setoya.com/</a>
部局/担当者名	瀬戸谷生き生きフォーラム <a href="http://www.setoya.com/ikiiki f/">http://www.setoya.com/ikiiki f/</a>
連絡先	会長 小田 稔彦
推薦市町村名	(054)639-0120
	静岡県藤枝市